



2019年5月15日

各位

会社名	株式会社動力
(コード番号)	1432 TOKYO PRO Market)
代表者名	代表取締役 鈴木竜宏
問合せ先	取締役管理部長 藤本 進
T E L	0566-91-3880
U R L	http://www.doryoku.co.jp

特別損失(のれんの減損損失及び移転費用)の計上見込および
通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、当社は、2019年3月期決算において、下記の通り特別損失の計上及び2018年11月13日に公表いたしました2019年3月期通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. のれん減損損失及び営業所移転費用の特別損失計上について

当社は、合併会社である TAK グリーンサービス株式会社及び有限会社大香電工の株式取得時に発生したのれんについて、11,808千円の特別損失を計上することといたしました。これは合併後の収益が事前に想定していたものを下回り、今後の回収可能性を慎重に検討した結果であります。また、当事業年度において、東京営業所を築地より両国に移転した際の費用として1,150千円の特別損失を計上することといたしました。

この結果、12,958千円を特別損失として計上することといたしました。

2. 2019年3月期通期業績予想の修正（2018年4月1日～2019年3月31日）

（単位：百万円未満切捨て）

	売上高	営業利益又は 営業損失(△)	経常利益又は 経常損失(△)	当期純利益又 は当期純損失 (△)	1株当たり 当期純利益又は当 期純損失(△)
前回発表予想(A)	2,200	20	20	15	7.75円
今回修正予想(B)	2,148	△18	△18	△31	△16.22円
増減額(B-A)	△52	△38	△38	△46	—
増減率(%)	△2.3	—	—	—	—
(ご参考) 前期通期実績 (2018年3月期)	1,858	12	13	11	5.67円

【修正の理由】

売上高につきましては、概ね2018年11月13日に公表した通りの売上高になりましたが、工事原価については人件費の高騰、外注費の高騰により、当初見込んでいた想定原価を大幅に超えたため、営業損失を計上することとなりました。

また、のれんの回収可能性について検討した結果、全額を特別損失計上としたため、当期純損失を計上する結果となりました。

第12期については、原価管理および収益構造の徹底的な見直しを行う所存であります。

以上